

2018年5月24日

東急不動産株式会社

道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業内・「東急プラザ渋谷」

## 日本初上陸「CÉ LA VI (セラヴィ)」の出店が決定

～世界を魅了するエンタテインメントレストランとタッグを組み、新たなランドマークへ～

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:大隈 郁仁)は、当社が組合員および参加組合員として参画する道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合で推進中の「道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業」(以降、本プロジェクト)の商業施設ゾーン「東急プラザ渋谷」17・18階部分に、日本初上陸となる「CÉ LA VI Tokyo(仮称)(セラヴィ トウキョウ)」(以降、「CÉ LA VI Tokyo」)の出店が決定しましたのでお知らせいたします。

※「東急プラザ渋谷」は本プロジェクトの2階～8階、17・18階の商業施設部分の名称です。



道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業  
外観(北東側)イメージ



「CÉ LA VI Singapore」  
Marina Bay Sands

当社は、2019年秋に竣工予定の東急プラザ渋谷を「MELLOW LIFE(メロウライフ)」を提案する場として、「都会派の感性が成熟した大人たち」をターゲットに、新時代に向けた商業施設を計画中です。

この度、東急プラザ渋谷の屋上広場に面した17・18階部分に、「CÉ LA VI Tokyo」の出店が決定しました。「CÉ LA VI」は、シンガポールの「Marina Bay Sands(マリーナベイ・サンズ)」最上階となる57階や、香港、フランスのサントロペ等で展開する、世界中を魅了する総合エンタテインメントレストランです。

日本に初上陸となる「CÉ LA VI Tokyo」では、「都会派の感性が成熟した大人たち」をリードターゲットに、ファインダイニングからカジュアルダイニングまで、お客様の様々な利用シーンに向けたレストラン・バーを計画しています。また、多彩なミュージックに彩られた店舗空間では、「CÉ LA VI」が贈るトータルエンタテインメントを提案し、カルチャーを牽引してきた渋谷の街に「新たな大人の社交場」を創造します。

国内外から注目される100年に1度と言われる渋谷の再開発で、当社と「CÉ LA VI Tokyo」がタッグを組み、渋谷を訪れる多様な人・文化・個性の混在を活かした「世界の渋谷」のランドマークとなる事を目指します。

※「CÉ LA VI Tokyo」の詳細については今後発表いたします。



## ■ 「CÉ LA VI (セラヴィ)」ブランド概要

「CÉ LA VI」は、シンガポール「Marina Bay Sands」の1号店を皮切りに、香港、フランスのサントロペ等で展開し、現在は、総合エンタテインメントレストランとして世界で高い評価を受け、支持されています。

高層階やルーフトップ等のスペシャルロケーションで様々なミュージックに彩られる店内では、ハイクオリティーなフードやカクテルを提供され、国境を超えたハイセンスな大人が集まり賑わう総合エンタテインメントレストランです。

なお、「CÉ LA VI」ブランドを展開する Iconic Locations Limited は、ルイヴィトン・モエヘネシー(LVMH)、キャタルトン(米国プライベートエクイティファンド)及び、グループ・アルノー(LVMH のオーナーであるベルナール・アルノー氏)の3社がファンドを通じて2016年に設立・承継した会社です。

ブランドホームページURL: <http://celavi.com/>



「CÉ LA VI Singapore」Marina Bay Sands

### 「CÉ LA VI Tokyo」運営会社概要

社 名: (仮称)株式会社 Iconic Locations Tokyo

設 立: 2018年7月(予定)

資 本 金: 50百万円

株 主: 株式会社ワイズテーブルコーポレーション50%、Iconic Locations Limited50%

代 表 者: 稲塚 晃裕(予定)



## ■ 東急グループが掲げる「エンタテインメントシティSHIBUYA」

現在、東急グループでは、これまで多くの流行や文化を生み出し成長してきた渋谷において、「エンタテインメントシティSHIBUYA」を掲げ、100年に1度と言われる再開発を関係者と協力して推進しています。渋谷の魅力である「多様な人・文化・個性の混在」を活かし、これからも世界を牽引する新しいビジネスやカルチャーを、発信してまいります。

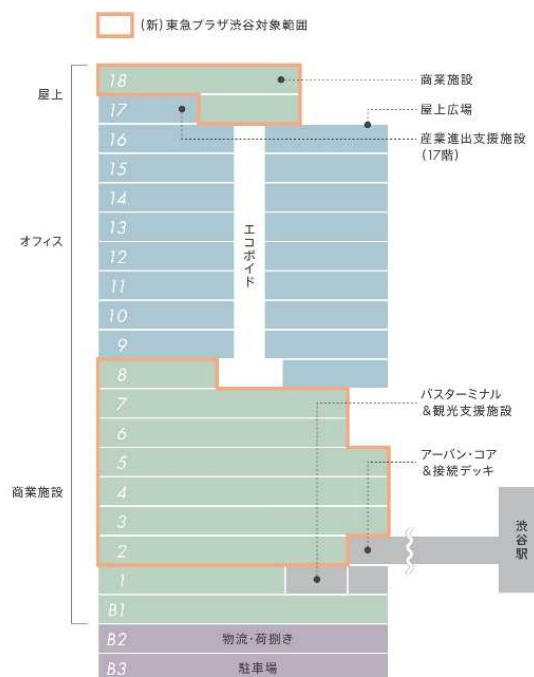
## ■ 道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業について

2019年秋の竣工を予定している本プロジェクトは、旧東急プラザ渋谷および隣接する街区を一体開発するもので、東急グループが関係者と共に推進中の渋谷駅周辺再開発のプロジェクトのひとつです。

本プロジェクトの2階～8階、17・18階部分が東急プラザ渋谷となり、9階～17階にはオフィスを計画しています。加えて建物上部の17・18階部分には、渋谷の街を訪れる方の憩いの場となる屋上広場も計画しています。

また、1階には空港リムジンバスも乗り入れるバスターミナルをはじめ、観光支援施設も設置し、渋谷駅西口の新たな玄関口を目指しています。

多世代やインバウンドの方々を受け入れる本プロジェクトの開業によって、多様性という渋谷の魅力をより一層高めることができるよう、地域とともに賑わいある街並みづくりを進めてまいります。



## ■ 事業概要

### 道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業

事業主体	道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合
所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目38番(地番)
用途	店舗、事務所、駐車場等
敷地面積	約3,336㎡
延床面積	約58,970㎡
階数	地下4階～地上18階(建築基準法上は19階)
高さ	約103m
設計者	デザイナー・アーキテクト: 手塚建築研究所 マスター・アーキテクト: 株式会社日建設計 設計・監理: 清水建設株式会社一級建築士事務所
施工者	清水建設株式会社
竣工	2019年秋(予定)

### 計画地

